

令和3年度 久留米市文化芸術振興審議会 第2回会議（書面開催）  
議題（1）市政アンケートモニター「くるモニ」の調査項目について

＜意見用紙のまとめ（結果）＞

1 調査項目（案）に対して

- ①この案でよい : 8人
- ②さらに検討が必要 : 3人
- ③その他 : 0人

2 寄せられたご意見

- ① コロナ禍の中、文化芸術を担っていた人たちが、インターネット配信やコンサートライブ配信等で文化芸術を発信し、ネットや YouTube 配信による映画や音楽の鑑賞といった新たな鑑賞スタイルが普及した。自宅に居ながら文化芸術に親しんだり、本来なら見られなかったイベントの動画を見ることができたりなど、リアルでなくても間接的に体感できるメリットももたらしている。間接的な鑑賞を新たに追加することに賛同する。
- ② コロナ禍で家計が苦しくなった世帯等に対しても、お金や手間をかけずに近場での景色や風景、四季を感じて楽しめる文化や機会が増えるとよい。
- ③ 問1－付問1、問5－付問1にある、鑑賞・活動した場所の選択肢は、市民の活動エリアの詳細を把握するため、これまでの「市内・市外」から、「市内・久留米市外福岡県内・県外」としたらどうか。
- ④ 問1－付問2の選択肢は、コロナの影響があるかどうかを判別するため、「1. コロナの影響に関わらずTV、CD、DVD、インターネットなどによる鑑賞で十分だ」とし、「コロナの影響でTV、CD、DVD、インターネットなどによる鑑賞へ切り替わった」を追加してはどうか。
- ⑤ 間接的な鑑賞について、有料・無料の区別をはっきりさせるために、「問2／次の中で、あなたがこの1年間に、テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネット配信等により、無料（追加の課金なし）で鑑賞したものはありますか？」「問3／次の中で、あなたがこの1年間に、CD・DVD等を購入したり、インターネットによる有料（月額またはチケット購入等）のオンライン配信で鑑賞したものはありますか？」と、追記したらどうか。
- ⑥ 令和7年の目標達成に向け、2年に一度位アンケートの総括を行い、施策を検討し実施していくことが必要であると思われる。

- ⑦ 間接的鑑賞に関しては、これまで同様、継続性の観点から、“TV、CD、DVD、インターネットなど自宅での鑑賞を除く”のがベターだとは思う。

オンラインでの有料配信と、CD、DVD、インターネットの差異をどう評価するか、難しい点はあるが、前者がリアルタイム性を有し、文化芸術活動に対する対価を積極的に負担する行動と意識が伴っていると考えられるのに対し、後者、とくに TV やインターネット、また CD、DVD などでも購入するのではなくレンタルして利用する場合、鑑賞に至る意識の積極性や制作者の活動に対する還元の意識はオンライン有料配信による鑑賞行動より希薄だと考えられる。

- ⑧ 間接的鑑賞行動率を評価指標として勘案するにしても、“TV、CD、DVD、インターネットなど自宅での鑑賞”と“インターネットによる有料（月額またはチケット購入等の）オンライン配信”は厳然と区別したうえで評価すべきだろう。

鑑賞率が高い音楽については、定額制音楽配信サービス普及が大きな影響を及ぼしていると思われるが、こうした新しいサービスについて、“TV、CD、DVD、インターネットなど自宅での鑑賞”の範疇とするか、オンラインでの有料配信の範疇とするか、議論が必要ないように思う。

- ⑨ 問4「インターネット配信による鑑賞の際に重視する点」について、「遠方や海外など、足を運びにくい催しであること」、「地元出身者や地域の伝統文化など地元ゆかりがあること」などの選択肢があると、久留米市内での催しでオンライン配信を行うかどうかなどの判断材料にもなるのではないか。

また、「好きな出演者である」「関心のある分野であること」などの、コンテンツそのものの中身を問う選択肢がないが、それも鑑賞を判断する大きな要因になるのでは。

- ⑩ 問3「次の中で、あなたがこの1年間に、インターネットによる有料（月額またはチケット購入等）のオンライン配信で鑑賞したものはありますか。」について、「インターネットによる」という表現は必要だろうか。

衛星放送の有料契約で音楽鑑賞・映像鑑賞した場合や、NHK オンデマンド（有料契約）の美術・音楽鑑賞などは含まれるのか、などと考えると、設問意図が分からなくなる。

間接的な鑑賞（有料）などの設問についても、その通信経路を意識することは今回必要なのだろうか。

- ⑪ 現在の調査項目案では、鑑賞についてのみ、直接的・間接的なものを尋ねているが、コロナ禍の中では、活動についても、直接的なものと同様に間接的なものが増えていると思う。「間接的活動」も含めるべきかどうか検討してもらいたい。イベント等を主催する側では、えるピアの文化祭を YouTube 配信するといった、動画や音声配信のアプリを使った活動が多く見受けられた。